震災で親を亡くした子どもと家族に寄り添う

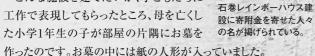
宮城県では1,066人の子どもが震災で親を亡くしました(※)。津波 の後で親の死を知った時の絶望、未だ行方不明の親を想う辛さは、 想像に余りあります。

あしなが育英会は2014年、東日本大震災で親を亡くした子どもと その家族が集う「レインボーハウス」を仙台、石巻、陸前高田に開設 しました。

レインボーハウスは阪神・淡路大震災を きっかけに誕生した心のケアの活動拠点で す。東日本大震災が起きた時、若宮紀章さ ん(あしなが育英会東北事務所)は「東北 にもすぐレインボーハウスが必要になると 思ったそうです。

石巻レインボーハウスの開設準備中、こ んなことがありました。

どんな施設を建てたいか、子どもたちに 工作で表現してもらったところ、母を亡くし た小学1年生の子が部屋の片隅にお墓を の名が掲げられている。



▲若宮紀章さん。あしながお

じさんが描かれた壁には

「その子なりの感情表現だったのだと思う。亡くなった家族の話は 学校でも家庭でも話しにくい。成長とともに自分の気持ちを言葉で表 現できるようになるが、神戸の震災で親を亡くした子たちは"今も簡 単には言えない複雑な感情があ る"と口にする。東北の子たちも 同じ辛さを抱えるだろう。それだ けに長いスパンでの寄り添いが 大事だしと若宮さんは言います。

また「心の内側は6年前の3月 11日からあまり変わっていないん じゃないか」と感じる時もあるそう ▲子どもたちの作った「2016年のいいこ です。「"変わってない"部分は、 繊細で複雑で困難なことが多



とツリー」。"新しい家に引っ越した""高 校に入学した"など嬉しい出来事を書 いたカードが並ぶ。

い」と言います。それを吐き出すことなく内に溜めていけば、心は疲 弊する一方でしょう。「レインボーハウスで同じように家族を亡くした 人たちと語り合い、自分の気持ちを表現することで前に進むきっかけ を見出す。そのお手伝いができれば」というのがレインボーハウスに 携わる人たちの共通の思いです。

震災遺児・孤児を支援するため行政をはじめ各支援団体がさま ざまな活動を行なっています。レインボーハウスはその一角を担うも のですが県内の震災遺児・孤児すべてとつながるのは困難です。子 どもが望めばいつも手が差し伸べられる環境をつくるのは大人の責 任です。そのために何ができるか、これからも考えていかなければな りません。

※宮城県「本県の震災遺児・孤児の状況」(平成28年7月31日現在)

「すこやかぶくい2016」で、 全労済と一緒に、災害への備えを呼びかけ

子育てファミリーが防災クイズに挑戦。防災グッズにも高い関心

大る11月26・27日、福井県産業会館において「すこやかふくい2016」が開催され、福井県生 協連は全労済と一緒に「防災・減災」に関心を持っていただくブースを出展しました。

「すこやかふくい2016」は子どもたちの健やかな成長をサポートする団体が実行委員会形式で 企画しており、子育てのための情報や楽しいイベントが満載で、多くの子育てファミリーが参集 しました。

全労済と福井県生協連のブースでは、全労済が『ぼうさいクイズ』コーナーを、福井県生協連 が『防災グッズ』コーナーを受け持ち、災害への備えを呼びかけました。生協へのブース来場者 数は2日間で2600人を超え、「いちばんだいじなのは、じぶんのいのちとひとのいのち」(全労済 「ぼうさいえほん」より)と、多くのファミリーに災害の備え方を知っていただくことができました。





福大健康祭で『シュガーテスト』ブースを出展

12月2日に開催された『福大健康祭』(福井大学生協主催)に、福井県生協連は『シュ ガーテスト』のブースを出展させていただきました。公益社団法人ふくい・くらしの研究 所から講師を派遣していただき、日ごろ自分が飲んでいる清涼飲料水に含まれる糖分が どれくらい入っているか計算していただき、飲みすぎ注意を促しました。

自分が日ごろ飲んでいる飲料水には、砂糖に換算するとシュガースティック8~16本に もなる糖分が含まれていることに、どの学生さんもびっくり! 酸味料や香料、着色料な どでおいしく飲めるからくりに納得の様子でした。

正しい食生活と適度な運動・睡眠で、健康な学生生活を送ってほしいですね。



会員生協のボランティア活動紹介

ボランティア活動に対して助成金をお渡しし、活動を応援しています。

●いわて桜植樹ボランティア(東日本支援)

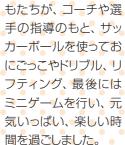
津波の恐ろしさを後世に伝えるため、 津波が到達したライン約170kmに桜を 植樹している岩手県陸前高田市のNPO 「桜ライン311」の植樹会に、昨年11月 19日組合員・職員9人で参加しました。あ いにくの雨となりましたが、指定の場所に ベニシダレザクラ3本を植樹してきまし

た。しっかり根付いて、 安全の道標となること を祈っています。



②「サウルコスと遊ぼう」を開催(子育て支援)

次代を担う子どもたちの健全 育成を支援しようと、地元のサッ カーチーム「サウルコス福井」と のコラボで子ども向けのイベン トを開催しました。福井・丹南・敦 賀の3会場で男女104人の子ど







「消費者教育推進フォーラムin北陸」報告



デース 「学校や地域における 消費者教育の充実に向けて』

日時 11月21日(月)

金沢市

主催「北陸スロック地方消費者フォーラム」 実行委員会·消費者庁·文部科学省

地方消費者フォーラムは、地域において消費 者問題に取組む様々な人々が情報や意見の交換 を行う「交流の場」として、平成22年から全国8 ブロックで開催されています。

今年度は、北陸ブロックとしては初めて文部科

学省の「消費者教育フェスタ」との併催となり、消費者団体、消費者行政担当者、 教育委員会、学校、企業などから220名が集いました。

消費者教育の推進に繋がるきっかけ作りにしていただければと、静岡大学教授 で消費者問題ネットワークしずおか代表の色川卓男氏のミニ講座、消費者教育の 実践事例報告、分散会で意見交換を行いました。また、展示見学・実践交流では消 費者団体の活動紹介や企業の資料の展示・説明が活発に行われました。

終ずしました。

(2016年11月15日~2017年2月15日)

収集物は、福井県ボランティア センターを通じて、収集ボランティア団体から コレクターに売られて換金され、

福祉活動に活用されます。 ご協力ありがとう ございました。

16年度の量 収集物 使用済み切手 3,040g

生協ボランティア月間報告

ベルマーク 8.168.2点 書き損じ葉書 155枚

外国コイン

国:14ヵ国 紙幣枚数:1枚 コイン枚数:87枚 他に日本の古銭も

会員生協の活動報告&予定案内

学校生協

組合員に感謝! 秋の生協祭り2016

平成28年11月5日(土)~6日(日)の2日間 に渡り、指定店の活性化と福利厚生事業の一環 として、(一財) 福井県教育センター全館にて、≪

秋の生協祭り2016≫を開催し、約350人の組合員さん及びご家族 の方にご来場いただきました。

日頃のご協力、ご支援に感謝をして、350円でおろし蕎麦(県内 秋の生協祭り2016は盛況のうちに終了いたしました。

丸岡産蕎麦粉100%使用)を食べられる 「手打ち蕎麦」のブースには、「挽きたて・ 打ちたて・茹でたて」三拍子揃った新蕎 麦の風味を味わう組合員さんの姿で列 ができ、舌鼓を打っておられました。



また、「新鮮野菜・果物」のブースでは、200円で「みかんの詰め ほうだい」や「北海道産じゃがいも・玉ねぎ」の特売コーナーを催し、